

CS3・CS3+(60226・60216)用ソフトウェアアップデート 2.3.1 新機能と特色

CS3/CS3+(品番 60226、60216)用ソフトウェアアップデート(バージョン 2.3.1)には、次の変更が含まれています。

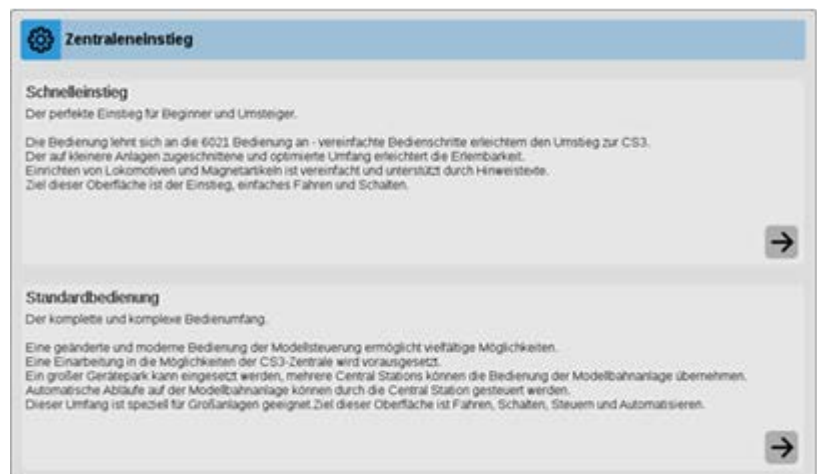
- 新規ユーザー、または、旧メルクリンデジタルシステムからの切り替えユーザーのための新しいクイックスタートユーザーインターフェイスの導入。
- 運転操作時、および、機関車/アクセサリデコーダーの編集時のさまざまなプロセスの最適化。
- MS2のバージョン3.121へのアップデート。
- Link s88(品番60883)のアップデート。
- 機関車デコーダーソフトウェアのバージョン 3.2.2.1 へのアップデート。

新しいクイックスタートユーザーインターフェイスの導入

このアップデートから、新規ユーザーのためにCS3の初めの一步のための新しいユーザーインターフェイスが提供されます。これは、機関車をはやく簡単に登録/制御できるだけでなく、アクセサリの迅速なテストにも適しています。つまり、このシステムは、ほとんどの初心者が最初に行う作業を容易にすることを目的としています。

CS3の最初のステップを体験したい人は、メニューに従って最初の機関車を登録できるようになりました。その後、長い設定作業を行うことなく、コントローラーでこの機関車をすぐに制御できます。

もちろん、以前の標準ユーザーインターフェイスも引き続き使用できます。鉄道模型の運転手は、どのユーザーインターフェイスで開始するかを自分で決めることができます。



CS3 アップデート情報



機関車の制御には、2つのコントローラーがディスプレイに表示されます。2つの異なるユーザーインターフェイスを選択できます。CS2のユーザーは、スピードメーターを備えた左のバージョンにすぐに慣れるでしょう。他方、アドレスの直接入力に慣れている場合は、テンキーを備えた右のコントロールパネルの方が良いかもしれません。車両のDCCまたはMMアドレスがわかっている場合は、特に向いています。



アクセサリを切り換える場合も同様に簡単です。最大32までのアドレスのアクセサリスイッチが並んだユーザーインターフェイスです。"keyboard(キーボード)" ボタンを押すと、このコントロールパネルにアクセスできます。アクセサリデコーダーをこのアドレス範囲(1~32)のいずれかに設定し、そのアクセサリをCS3のメインレール出力またはプログラミングレール出力に接続するだけで、テストできます。



デフォルトでは、赤と緑のボタンが並んでいて、アクセサリを切り換えることができます。ただし、標準モードと同様に、これらをポイント、信号機、ランプ、またはその他のスイッチングアクセサリに設定することもできます。これにより、小さなテストレイアウトに適切なコントロールインターフェイスが迅速かつわかりやすく構築できます。さらに、キーボード画面のままで、2つのコントローラーに呼び出し中の機関車にアクセスし、制御することもできます。

クイックスタートインターフェイスは、機関車の運転開始に必要な基本的な設定を行うことができます。詳細設定したい場合は、いつでも標準モードに切り替えることができます。クイックスタートモードで登録されたすべてのアイテムは、標準モードでも自動的に使用可能になり、もちろん、それは逆も同様です。

この新しいソフトウェアは、今後出荷されるCS3/CS3+にも含まれます。これには、新しいクイックスタートガイドも含まれます。

CS3 アップデート情報



CS3ユーザーがほとんど使用していなかった以前のウィザードの代わりに、改善されたヘルプ機能により、CS3の使用に関する情報と必要なサポートを提供します。

CS3の "Settings(設定)" の下の "System(システム)"メニューから、いつでも希望のユーザーインターフェイスを選択できるようになりました。したがって、このユーザーインターフェイスは、新規ユーザーや、CS3への乗り換えユーザーだけでなく、経験豊富なユーザーにとっても、小規模レイアウトで使用する時や、テスト作業を行う時などに利用できるものと確信しています。



各種プロセスの最適化

このアップデートにより、CS3の操作にさまざまな革新と最適化がもたらされます。いくつかの例を次に示します。

- 機関車リストの選択表示ルーチンの改善。最初に選択されたソート要素に加えて、他の要素にも基づいて複数要素で選択表示できるようになりました。
- 機関車設定画面に、"STOP"ボタンが実装されました。
- 現在のCレールのポイントデコーダーと1番ゲージのポイントデコーダーの設定項目が拡張されました。
- 接続されたソフトウェアバージョン3.121のMS2で、CS3で登録された重連編成を呼び出して制御できるようになりました。
- CS3が記憶容量の限界に達したときの新しい内部ルーチンが実装されました。そのサービスモードの起動により、ユーザーはデータを個別に削除したり、SDカードやUSBメモリなどの外部記憶メディアに移したりすることができます。このクリーニングの後、CS3は再び完全に機能します。
- タッチ機能によるディスプレイの操作に加え、マウスによる操作にも対応。

バージョン3.121へのアップデートによるMS2の変更点

CS3の新しいバージョン2.3.1へのアップデートにより、MS2(60653、60657、Trix 66950、66955)のバージョン3.121へのアップデートも同時に提供されます。MS2の操作には、次の変更が生じます。

- CS3またはCS2(バージョン 4.2.13 以降)に接続されたソフトウェアバージョン 3.121のMS2では、CS3またはCS2で登録された重連編成を呼び出して制御できるようになりました。
- ファンクション操作において、他のグループへの切り替えが修正されました。最大32の機関車ファンクションは、8つのファンクションごとにグループ化されて表示され、それらを切り換えることによりすべてのファンクション機能を提供します。このアップデート以降、SHIFTキーを押すたびに1グループずつ切り替わり、エスケープ(矢印、戻る)キーを押すと戻ります。選択されたグループはアクティブなままであり、最初のグループへの自動復帰はされません。機関車に変更されると、ファンクションは最初のグループに戻ります。
- バージョン3.121へのアップデート後、MS2には接続ボックス用のソフトウェアバージョン1.47が含まれます。本アップデートは必ず実施してください。追加のMS2を使用する場合は、操作を開始する前に、それらもソフトウェアバージョン3.121にアップデートする必要があります。

メルクリン デジタル制御システムのこの新しいオプションを楽しんでいただければ幸いです。

敬具

Märklin サービスチーム